

学会記事 (2021-22 年)

1. 年次大会

第 39 回大会は、2022 年 10 月 1 日（土）・2 日（日）、「新型コロナウイルスパンデミックと自治体の改革」の統一論題のもと、同志社大学で開催されました。229 名（うち会員 92 名）の参加を得て、盛会のうちに終了しました。その成果は、次号の学会誌で公表される予定です。大会を準備された同志社大学の関係者、そして、すべての参加者の皆さんに感謝申し上げます。

なお、第 40 回大会は、2023 年 9 月 23 日（土）・24 日（日）、「再起動—新時代における地方の挑戦—」を統一論題として、城西大学東京紀尾井町キャンパスで開催される予定です。また、2024 年に開催される第 41 回大会は、熊本県立大学の予定です。

2. 学会賞 (2022 年) 審査結果

会員総会 (2022 年 10 月 1 日開催) において、次のように学会賞の審査結果が発表されました。授賞理由については、当学会ホームページをご参照ください。

著作部門	受賞者：有馬晋作（宮崎公立大学） 受賞著書：『暴走するポピュリズム 日本と世界の政治危機』筑摩書房、2021 年 8 月刊。
論文部門	受賞者：長谷川幸一（新潟大学大学院現代社会文化研究科博士後期課程） 受賞論文：「地方公共団体における個人情報保護の共通ルールの課題」 『地方自治研究』Vol. 36, No. 2、2021 年 12 月

3. 研究部会

会員総会 (2022 年 10 月 1 日開催) において、次の研究部会の発足が承認されました。

研究課題	人口減少社会における持続可能で強靱な地方の創生
研究組織	研究代表者 藤原直樹（追手門学院大学） 研究分担者 小川 長（尾道市立大学） 桑原美香（福井県立大学） 関下弘樹（福山大学）

4. 決算 (2021-22 年度)

会員総会 (2022 年 10 月 1 日開催) において、2021-22 年度の決算は原案通り承認されました。

5. 予算 (2022-23 年度)

会員総会 (2022 年 10 月 1 日開催) において、2022-23 年度の予算は原案通り承認されました。

6. 学会誌編集規程の改正

会員総会（2022年10月1日開催）において、学会編集体制の強化のため、次のように学会誌編集規程の改正が承認されました。

改正前	改正後
(学会誌の目的) 第1条 (略) (編集委員会の構成) 第2条 編集委員会は、会長を委員長とし、副会長、他 <u>4</u> 名の委員によって構成する。 2 会長及び副会長以外の委員は、常任理事会の承認を経て、 <u>理事</u> のうちから会長が委嘱する。 3 編集委員の任期は3年とし、重任を妨げない。 (以下、略。)	(学会誌の目的) 第1条 (略) (編集委員会の構成) 第2条 編集委員会は、会長を委員長とし、副会長、 <u>ほか6名</u> の委員によって構成する。 2 会長及び副会長以外の委員は、常任理事会の承認を経て、 <u>会員</u> のうちから会長が委嘱する。 3 編集委員の任期は3年とし、重任を妨げない。 (以下、略。)

また、この改正に伴い、現在の幹事を委員に変更しました。

学会誌編集委員会

委員長	橋本 行史 (関西大学)	
委員	星野 泉 (明治大学)	小川 長 (尾道市立大学)
	稲田 圭祐 (和光大学)	上拂 耕生 (熊本県立大学)
	江波戸順史 (千葉商科大学)	都築洋一郎 (兵庫県立大学)
	倉地真太郎 (明治大学)	比嘉 正茂 (沖縄国際大学)

7. 理事（東日本地区）の交代

会員総会（2022年10月1日開催）において、次のように交代が承認されました。

前任者：関口 浩（法政大学）

補充者：倉地真太郎（明治大学）